

資料 2

山梨県地域医療再生計画の達成状況について

山梨県医療審議会資料（平成26年5月21日）

山梨県福祉保健部医務課

第2次地域医療再生計画の達成状況(再生基金事業抜粋)

No.	事業名	施策	計画(単位:千円)		事業主体	計画内容	進捗状況等	計画完了時の目標	目標及び達成状況				
			事業費	県補助額(基金)					目標項目	計画策定時①	計画完了時②	最新の状況③	達成率③-①/②-①
1	通院加療がんセンター整備事業	高度専門医療	288,760	143,007	県立中央病院	外来化学療法ベッドを増床し、専門スタッフを充実させた通院加療がんセンターを整備	<事業完了(H23~H24)> H25年1月、通院加療がんセンター開所(32床)	化学療法外来の年間受入患者数を現在の約4,500人/年から7,200人/年程度に引き上げる	化学療法外来の年間受入れ患者数	4,469人(H22)	7,200人(H25)	5,006人(H25)	19.7%
2	放射線治療設備整備事業	高度専門医療	1,651,115	650,000	山梨大学医学部附属病院	リニアック治療棟を建設し、放射線治療装置を整備	<事業完了(H23~H24)> H24年10月、強度変調放射線治療装置整備完了、放射線治療棟開所 H25年3月、高精度放射線治療装置整備完了	年間放射線治療患者数を現在の約500人/年から700人/年程度に引き上げる	年間放射線治療患者数	521人(H21)	700人(H25)	519人(H25)	-1.1%
3	総合周産期母子医療センター整備事業	周産期医療	48,300	24,150	県立中央病院	母体と胎児を同時に監視できる母体胎児集中監視システムを整備	<事業完了(H23)> H24年2月、母体胎児集中監視システム整備完了	母体胎児集中監視システムを整備し、医師や看護師が不足する中で高度医療の提供を継続できる体制を確保	1,500g未満児の出産取扱件数	43件(H21)	60件(H24)	年間60件程度の受入体制を整備済	
4	災害拠点病院等通信機能強化事業	災害医療	19,535	16,391	災害拠点病院等	災害時の通信手段を確保するため、災害拠点病院や医療救護対策本部に衛星携帯電話を配備	<事業完了(H23~H25)> H23年度中に、全ての災害拠点及び災害支援病院、各医師会、歯科医師会等に衛星携帯電話を整備	災害拠点病院等の通信体制整備により、災害時においても円滑に医療が提供できる体制を構築	災害拠点病院及び基幹災害支援病院(計11病院)に衛星携帯電話を整備(H23) 医師会、歯科医師会及び災害支援病院等に整備(H25)	11病院(H23) 12病院及び医師会、歯科医師会		整備済	
5	災害時透析治療体制整備事業	災害医療医療連携	44,596	44,580	山梨県透析医会等	災害時に透析治療が継続できるよう、衛星携帯電話を活用した音声通信ネットワークを構築(山梨県透析医会会員 33医療機関)	<事業完了(H23~H25)> H26年3月整備完了	透析医療医療機関の通信体制整備により、災害時においても円滑に透析医療が提供できる体制を構築	山梨県透析医会会員医療機関(33医療機関)に衛星携帯電話を整備	33医療機関(H25)		整備済	
6	地域医療臨床研修推進事業	人材確保	25,414	25,414	山梨県・甲府共立病院等	地域医療に対する医学部生や研修医の関心を高めるとともに、病院群による臨床研修を実施	<事業完了(H23~H25)> ①病院群による研修プログラム作成やセミナー開催等を支援 ②ホームページ等を活用した啓発活動を実施	啓発・広報活動、研修プログラムの開発、セミナーや見学会の開催等を通じて臨床研修医を確保	医師臨床研修マッチングによる臨床研修医の確保 (参考)マッチ者数 H21:49人、H22:36人、H23:45人、H24:49人		H25マッチ者数 58人		
7	産科医育成・確保支援事業	人材確保	20,300	20,300	山梨県・山梨大学医学部附属病院等	産科医確保のため、産科後期研修の充実を図るとともに、研修医に奨励金を交付	<事業完了(H23~H25)> ①統一産科専攻医研修プログラム作成及び研修医募集活動を支援 ②H24~同プログラムによる研修受講者に奨励金を交付	研修プログラムの開発、セミナーや見学会の開催、研修奨励金の交付等を通じて産科後期臨床研修医を確保	産科後期研修医の確保 (参考)産科後期研修医数 H22:2人、H23:4人、H24:6人		H25産科後期研修医数 8人		
8	若手医師海外留学支援事業	人材確保	19,590	19,590	山梨県	帰国後、一定期間県内の医療機関に勤務することを条件に、先端医療技術等を学ぶ若手医師を海外派遣	<事業完了(H23~H25)> H23:制度の周知及び募集 H24年度から、海外留学への留学資金を交付	海外留学支援制度の創設により、若手医師の県内定着を実現	県内の医療機関に勤務することを条件とした海外留学を支援する制度の創設			創設済 (H24年度に制度創設 留学資金交付1人(H24) 3人(H25))	
9	地域医療連携支援学寄附講座設置事業	人材確保	150,000	150,000	山梨大学	地域医療における連携推進のための支援策等に関する研究を行う寄附講座を設置	<事業完了(H23~H25)> H23年10月に、地域医療連携支援学講座を山梨大学に開設	地域医療における連携推進のための支援策等の研究を通じ、医師不足病院への地域医療支援体制を構築	山梨大学に「地域医療連携支援学講座」を寄附講座として設置			設置済 (H23.10 寄附講座設置)	
10	広域医療搬送拠点臨時医療施設整備事業	災害医療	67,647	67,647	山梨県	大規模災害に備え、必要な資機材を備えた広域医療搬送拠点臨時医療施設(SCU)を整備	<事業完了(H23~H25)> H23:資機材の整備完了 H24年度以降は、資機材の維持管理及び研修会の開催	必要な資機材を整備により、SCUが機能を十分発揮できる体制を実現	小瀬スポーツ公園内の広域医療搬送拠点臨時医療施設に必要な資機材を整備			整備済 (H23年度に整備実施)	
11	甲府地域医療センター整備事業	救急医療災害医療	496,071	253,000	甲府市・甲府市医師会	甲府地区広域圏の初期救急医療を担う拠点施設を強化充実し、災害時医療初動機能を併せて整備	<事業実施中(H23~H25繰越)> 新施設の建設工事中 H26年度整備完了予定(繰越)	甲府市医師会救急医療センターの診療機能を拡充し、初期救急患者の診療件数を、約4,200件/年から5,400件/年程度に引き上げる	初期救急患者の年間診療件数	4,167件(H21)	5,400件(H26)	甲府市医師会:6月末完了予定	

No.	事業名	施策	計画(単位:千円)		事業主体	計画内容	進捗状況等	計画完了時の目標	目標及び達成状況					
			事業費	県補助額(基金)					目標項目	計画策定時①	計画完了時②	最新の状況③	達成率③-①/②-①	
12	ドクターヘリ場外離着陸場整備事業	救急医療 災害医療	126,967	18,448	市町村	ドクターヘリの有効活用を図るため、場外離着陸場を整備(舗装、ペイントなど)	<事業完了(H23~H25)> H23:新設4カ所、改修2カ所 計6カ所 H24:新設3カ所、改修3カ所 計6カ所 H25:新設・改修計4カ所を整備	ドクターヘリの場外離着陸場(ランデブーポイント)整備により、ドクターヘリの有効活用が図れる体制を構築	ドクターヘリの場外離着陸場の整備を推進		整備中 (H26.3現在の離着陸場数402カ所)			
13	地域医療再生計画推進事業	医療連携	999	999	山梨県	計画の円滑な推進を図るため、関係機関との協議を進めるとともに、事業実施上の課題等に対応	<事業完了(H23~H25)> 関係機関との協議・調整を実施		計画事業の円滑、効率的な推進		事業完了			
14	心疾患医療体制強化事業	高度専門医療	216,300	108,150	県立中央病院	初期の段階で小血管の梗塞が発見できる最新の心臓血管撮影装置を整備	<事業完了(H24)> 循環器X線血管撮影装置の整備完了	新機種による血管撮影検査により、初期段階における梗塞を発見し、的確な治療を実施できる体制を構築	年間血管撮影検査件数	1,158件(H22)	1,280件(H26)	整備済		
15	脳血管疾患医療体制強化事業	高度専門医療	176,925	88,462	県立中央病院	初期の段階で小血管の梗塞が発見できる最新の頭腹部血管撮影装置を整備	<事業実施中(H25)> H26年3月 頭腹部血管撮影装置の整備	新機種による血管撮影検査により、初期段階における梗塞を発見し、的確な治療を実施できる体制を構築						
16	周産期医療体制強化事業	周産期医療	121,331	60,159	市立甲府病院	外来スペースの拡充に併せ、陣痛から分娩・回復までを同一個室内で完結できるLDRルーム等を整備	<事業完了(H23~H24)> 産婦人科外来の増築、LDRルームの整備完了	市立甲府病院の通常分娩の受け入れ体制を強化し、現在800件/年余りである分娩取扱件数を1,100件/年程度まで引き上げる	年間分娩取扱件数	837件(H21)	1,100件(H25)	744人(H25)	-35.40%	
17	高度救急医療機能の向上	救急医療	592,881	280,383	山梨大学医学部附属病院	山梨大学医学部附属病院の救急機能を充実	<事業完了(H25)> H26年3月 救急医療機能を強化するための医療機器整備を実施	高度救命救急患者の受入れを、約830件/年から1,200件/年程度に引き上げる	時間外救急搬送の年間受入件数	827件(H21)	1,200件(H26)	整備済		
18	東部地域救急医療センター整備事業	救急医療 災害医療	2,491,534	1,042,458	大月市立中央病院	大月市立中央病院に救急センター機能を持つ新病棟を整備し、併せて災害拠点病院の機能を充実	<事業実施中(H23~H25繰越)> H26年2月、新病棟完成 旧棟改修工事中(繰越)	救急時における患者受入件数、救急隊からの応需率及び地区外への患者搬送割合を改善及び災害拠点病院としての機能強化	救急患者の年間受入件数	2,919件(H21)	3,500件(H26)	6月末完了予定		
19	精神科救急医療体制整備事業	救急医療	399,000	158,000	県立北病院	精神科救急入院料病棟を増築するとともに、児童思春期の閉鎖病棟を増床	<事業実施中(H23~H25)> H25年10月 病棟の増築・改修工事完了	精神科救急患者受入数を現状の37人/年から85人/年に引き上げると共に、児童思春期患者の受け入れ体制の強化	精神科救急患者の受入人数	37人(H21)	85人(H26)	整備済		
20	DMAT整備事業	災害医療	43,334	43,334	山梨大学医学部附属病院等	被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行う専門訓練を受けた災害派遣医療チーム(DMAT)を整備	<事業完了(H23~H25)> H23:山梨大学にDMATを整備 H25:DMAT未整備の災害拠点病院(7病院)にDMATを整備	大規模災害発生時の医療支援体制の充実・強化	大規模災害発生時の医療支援体制の充実・強化		整備対象を全災害拠点病院に拡大し整備			
合計			8,034,759	3,214,472										

第3次地域医療再生計画の達成状況(再生基金事業抜粋)

No.	事業名	施策	計画(単位:千円)		事業主体	計画内容	進捗状況等	計画完了時の目標	目標及び達成状況				
			事業費	県補助額(基金)					目標項目	計画策定時①	計画完了時②	最新の状況③	達成率③-①/②-①
1	山梨大学への地域医療臨床研修学講座設置事業	地域の医師確保	200,000	200,000	山梨大学医学部	医師の地域偏在解消に向け、平成25年度に設置する寄附講座の対象病院の拡大と事業期間を延長	<事業実施中(H25~H27)> H25.11月 寄附講座開設 H25: 諏訪病院へ1名(病理) H26: 峡南医療センターへ3名(内科2、病理)	医師の地域偏在の解消	医療圏別医師数の最多/最少の比率	2.56倍(H22)	2.30倍(H27)	設置済 (H25年11月寄附講座設置)	
2	東京女子医大との連携による医師確保事業	地域の医師確保	38,000	38,000	大月市立中央病院	大月市立中央病院に県東部地域の救急医療拠点を整備することに伴い、東京女子医科大学からの医師派遣の拡大と事業期間を延長	<事業実施中(H26~H27)> H26年6月 1名(泌尿器科) H26年7月 1名(眼科予定)						
3	高度医療シミュレーションセンター整備事業	地域の医師確保	35,000	30,000	山梨大学医学部	高度な医療技術が習得できる心・血管カテーテル検査シミュレーターを整備し、県内医療機関で研修する医師に利用を開放	<事業完了(H26年3月)>	研修体制の整備	初期研修医のマッチ者数	49人(H24)	80人(H27)	整備済	
4	院内保育施設整備事業	地域の医師確保	64,071	64,071	県内5病院	女性医師や看護師の確保に向け、保育環境の整備が必要な病院に院内保育施設を整備 H25: 市立甲府病院、山梨厚生病院、加納岩総合病院、笛吹中央病院、諏訪病院	<事業実施中(H25繰越)> ①事業完了: 5病院 ②事業実施中: 3病院	女性医師の就業環境整備	女性医師の比率	15.6%(H22)	18.9%(H27)	市立甲府病院 12月末完成予定 山梨厚生病院 10月末完成予定 笛吹中央病院 10月末完成予定	
5	在宅医療提供体制構築に向けた実態調査事業	在宅医療の推進	1,110	1,110	山梨県	地域特性を踏まえたオーダーメイド型の在宅医療提供体制の構築を図るための調査・研究を実施	<事業完了(H25)> 峡東保健所: 「看取りの実態」、「急変時対応体制の実態」 富士・東部保健所: 「ボランティア団体等の実態」	在宅医療提供体制の強化	在宅療養支援診療所数(人口10万対)	6.31施設(H24)	10施設(H27)	実施済	
6	在宅医療支援センター設置事業	在宅医療の推進	63,000	31,640	市町村、地区医師会	多職種連携のコーディネート等を行う「在宅連携サポートステーション(仮称)」を整備	<事業実施中(H25~H27)> 峡南5町、甲府市医師会、東山梨医師会	他職種連携ネットワークの構築	ドクターネット登録状況	52人(H24)	100人(H27)	H27まで継続	
7	在宅健康管理システム整備事業	在宅医療の推進	30,000	30,000	市町村、地区医師会	ITを活用した医療・介護情報の共有の推進やコミュニケーションの円滑化を推進	<事業実施中(H25~H27)> 甲府市医師会、東山梨医師会(システムの導入整備及び運用)	IT活用による他職種連携の効率化	患者情報共有スマートデバイス保有者数	52人(H24)	100人(H27)	H27まで継続	
8	在宅多職種人材育成事業	在宅医療の推進	15,474	13,535	山梨県	保健所単位で在宅医療多職種連絡会議を開催するとともに、地域リーダーが中心となって、その成果を普及啓発	<事業実施中(H25~H27)>						
9	在宅医療推進協議会設置事業	在宅医療の推進	6,491	6,491	市町村、地区医師会	市町村等が主体となって地域在宅医療推進協議会を設置し、地域レベルで顔が見える関係づくりを進めるとともに、多職種連携による在宅医療を実践	<事業実施中(H25~H27)> 甲斐市、富士河口湖町、笛吹市医師会	在宅医療の普及啓発による地域の取り組み拡大	訪問診療を受けた患者数	1,512人(H22)	1,700人(H27)	H27まで継続	
10	医学生・看護学生による在宅医療体験研修事業	在宅医療の推進	10,200	10,200	山梨大学医学部	医学部生と看護学部生が共同で同じ在宅医療や介護の現場を体験することにより、在宅医療への気付きや関心を高める	<事業実施中(H25~H27)> H25: 医学生、看護学生延べ33名参加						

No.	事業名	施策	計画 (単位:千円)		事業主体	計画内容	進捗状況等	計画完了時の目標	目標及び達成状況				
			事業費	県補助額 (基金)					目標項目	計画策定時 ①	計画完了時 ②	最新の状況 ③	達成率 (③-①)/(②-①)
11	災害拠点病院等施設・設備整備事業	災害医療の充実・強化	298,505	298,505	災害拠点病院、基幹災害支援病院	災害時にも医療が継続できるよう、災害拠点病院等に対し自家発電装置、受水槽、備蓄倉庫、診療設備、簡易ベッド、緊急車両等を整備	<事業実施中(H25繰越)> H25:4箇所で発電機等の資機材を整備完了 H26:6箇所で整備完了予定	災害拠点病院等の強化	3日程度、病院機能を維持できる電気・給水設備を持つ災害拠点病院の割合	55.6%(H24)	100%(H27)	山梨厚生病院 6月末完了予定 笛吹中央病院 10月末完了予定 大月市立中央病院 5月末完了予定 白根徳洲会病院 10月末完了予定 富士川病院 9月末完了予定 山梨大学医学部附属病院 8月末完了予定	
12	開放型ALSシミュレーター整備事業	災害医療の充実・強化	5,000	5,000	県立中央病院	心停止前後のあらゆる急性期患者を想定したシミュレーション教育ができるALSシミュレーターを整備し、地域の医療機関に利用を開放	<事業完了(H25)> ALSシミュレーターシステムの整備完了						
13	携帯型デジタル無線機整備事業	災害医療の充実・強化	3,600	3,600	中巨摩医師会	多くの人に向けて一斉通信を行うことができるなど、衛星携帯電話にないメリットを持つ携帯型デジタル無線機を、地域内通信手段として整備	<事業完了(H25)> 携帯型デジタル無線機及びハンディアンテナの整備完了	災害時における通信手段の確保	モデル地域内において非地上系の通信手段を保有している医療機関の割合	14.3%(H24)	100%(H27)	モデル地区内の全医療機関に整備済	
14	ヘリポート整備事業	災害医療の充実・強化	60,000	60,000	市町村、災害拠点病院	防災ヘリなどの中型ヘリコプターの離発着も可能なヘリポートを整備し、災害時における医療・生活物資の輸送や患者・医療従事者の搬送のための拠点を形成	<事業実施中(H25繰越)> 救急医療機能を強化するための搬送拠点ヘリポート整備を実施中(韮崎市、白根徳洲会病院)		中型ヘリが離発着できる大きさ(36m×36m)でアスファルトまたはコンクリート舗装されたヘリポートの数	3カ所(H24)	5カ所(H27)	韮崎市:1月末完成予定 白根徳洲会病院:9月末完成予定 県立中央病院:7月末整備予定	
15	災害派遣車両整備事業	災害医療の充実・強化	8,000	8,000	県立中央病院	災害時にヘリコプターと連携して患者や医療従事者、医療物資等の緊急輸送を行うとともに、大規模災害時には被災地にいち早く駆けつけ、救命医療を提供するための車両を、基幹災害拠点病院である県立中央病院に整備	<事業実施中(H25繰越)> 災害派遣を目的とした車両を整備予定	災害時における輸送手段の確保					
16	地域医療救護体制整備事業	災害医療の充実・強化	199,379	199,379	市町村、医師会	大規模災害が発生した場合に市町村が設置する医療救護所で使用する物品(救護セット、担架、簡易ベッド等)の準備を進めるとともに、必要に応じて備蓄倉庫や貯水槽などを整備	<事業実施中(H25繰越)> H25:27箇所で医療救護所で使用する救護セットや備蓄倉庫を整備完了 H26:1箇所で整備完了予定		医療救護所用の救急医療セットが整備されている市町村の割合	66.7%(H24)	100%(H27)	甲府市:6月末完了予定	
17	被災時に治療場として転用できる病院駐車場改修事業	災害医療の充実・強化	50,000	50,000	山梨大学医学部附属病院	山梨大学医学部附属病院の立体駐車場を、災害発生時に避難所兼治療場として転用できるよう、電源、水道、トイレ等を備えた施設として改修	<事業完了(H25)> 病院立体駐車場を被災者治療所に転用するために必要な資機材を整備完了	地域における医療救護体制の充実					
18	災害時歯科医療救護体制整備事業	災害医療の充実・強化	6,700	6,700	歯科医師会	歯科医療救護マニュアルを見直し、救護活動を進めるための医療機器整備を進めるとともに、歯科医療支援コーディネーターを中心に研修を実施	<事業完了(H25)> 医療機器の整備及び研修の実施完了						
合計			1,094,530	1,056,231									